

## 「卒業生へのメッセージ」

**今** 年も30人の卒業生を送り出しました。そろって立派に旅立ってくれたことを心から喜んでいきます。

この子たちは、3年生の時に五ヶ荘小学校と統合、4年生の時に新校舎に移るといふ大きな出来事が続きました。統合は、五ヶ荘の子どもたちにとって大きな負担であったと思います。卒業を前にして当時の思い出を懐かしそうに語る姿に、胸が熱くなりました。「心のふるさと」という言葉がありますが、学校での思い出の大きさを改めて感じました。

**卒** 業生の最後の取り組みは、「東日本大震災」の義援金募金でした。一斉下校で、自分たちができることへの協力を全校に訴えました。震災から約10日、連日マスコミで伝えられる災害と原子力発電所の火災、そして放射能汚染。災害の大きさが日々大きく伝えられ、自分にできることを少しでもしたいという思いと、これからの生活のあり方を日本中のだれもが考えさせられる時に卒業を迎えたのでした。卒業生の呼び掛けに次のような言葉がありました。

平和をテーマにさまざまな学習を積み重ねたASAHIタイム(総合的な学習の時間)過去の人々の努力や苦勞、平和を求める強い願いがあつて今の私たちの平和な時代が築かれていること  
世界では、今もなおさまざまな問題が起きていることを学びました  
世界の平和を実現することは、自分の知識を広げること  
自ら行動すること  
同じ地球に生きる仲間として、みんなが手と手を取り合い、共に生きていくことなどの大切さを実感しました

**こ** のたびの震災も、世界で大きく報道され、さまざまな形での援助が世界から寄せられていると聞きます。

そのような時代に生きていく子どもたちなのです。学習を積み重ね、自分にできることは何かを深く考えて生きていってほしい。そして、一人一人に尊い人生のストーリーがあることを意識して、自らの命を大切にしてほしいと願います。

(殿田小学校 人権教育主任

細見 均)

### 環・境・市・民

「感激！」

「工」発見

エコちゃん

—第19回—



感激の「工」活動を紹介します。

「好きな花は何ですか？」と聞くと「僕はビオラやなあ。ビオラはそれぞれの花はとても小さいけど、それが集まると、全部同じ方向を見てるんや。日本人もそうあるべきやなあ」と語るのは、「園部町「花」友の会」の西田さん。

「花」友の会は「園部町を花でいっぱいしよう」を合言葉に平成6年に発足。現在、300人が活動されています。イベントなどに合わせて会員の自宅で作ったプランターの花を持ち寄り、会場を花で飾るのが主な活動で、そのほか公共施設の飾花や寄植え教室なども行われています。

老若男女問わず集まった地域の人が、花を育てることでの絆が育まれています。

今回のエコジスト

「園部町「花」友の会」



会長 西田修身さん (園部町口司・中央)  
副会長 森 隆一さん (園部町黒田・右)  
副会長 西田節子さん (園部町小椋町・左)

今年は秋の国民文化祭に向けてベゴニアを600プランター育てる予定です。全国からたくさんの方が来られるので、皆さんに喜んでもらえるよう花いっぱいでお迎えしたいと思います。

また、初めての試みですが今年はグリーンカーテンに挑戦します。地球温暖化防止に少しでも貢献できるようにと計画しました。気楽に楽しめる会なので、ぜひもっと多くの皆さんに参加してほしいと願っています。

(環境課)